

屋内屋外を問わずに **歩行だけで高精細な3D計測する**  
 ウェアラブル型  
 レーザースキャナ

# 日本インシーク

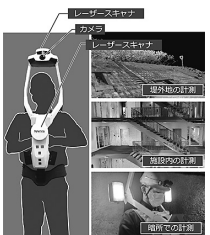
日本インシーク（大阪市の調査・計画・設計・維持管理の各ステップで活用している）。

六二八二〇三〇は、八月十七日〜二十日までインテックス大阪で開催された「下水道展」に、MMS（モバイル・マッピング・システム）を応用した製品各種を出展し、好評を博した。

MMSなどの3D計測技術に定評のある同社が導入した新たな3D計測技術が注目を集めている。

従来では、車両の進入できない歩道・林道・地下道・建物内部等ではMMSやUVによる3D計測は行えず、固定式レーザースキャナやハンディ型レーザースキャナを用いてきたが、計測に要する手間や計測精度等に課題があった。

このような点を改善すべく、歩行するだけで高精細に3D計測を行うことが出来るウェアラブル型レーザースキャナ「Navis VLX」を導入し、社会インフラ等



ウェアラブル型レーザースキャナ「Navis VLX」

同社では、MMSでは駐車車両や路上施設によって欠測が生じやすい歩道空間での調査に活用すること、地下埋設物の

調査・設計、道路植樹や道路附属物の維持管理、無電柱化に関する調査・設計などの多方面に活用してきている。

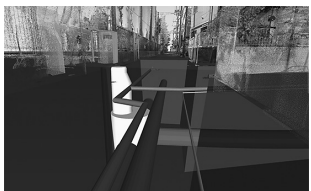
特に、取得した3D計測結果にBIM/CIMモデルで構築した計画・設計内容を合成することで、地下埋設物との干渉チェックや完成イメージの共有による関係者との意見調整に活用できる。

また、施工計画をBIM/CIMモデルで構築することによって、施工時の交通規制計画・重機

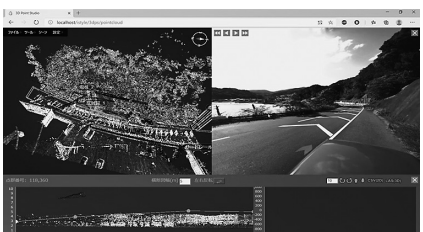
配置・架空線との取合いを机上で確認することが出来るため、設計精度の向上や施工時の手戻り防止を図ることが可能である。

取得した3D計測結果は、自社アプリである「Road Site Survey」を用いることで直感的に閲覧・計測・CAD図面作成（平面図・縦断面図・横断面図）などを行うことができる。

また、iConstruction大賞・



BIM/CIMモデルの合成例



3D PointStudio

優秀賞を受賞した「3D Point Studio」を活用して取得データを蓄積する「3D Point Studio」を経年的な維持管理への活用や取得データの多方面への有効活用を図ることが出来るようになる。

<http://www.insiek.co.jp/>

